



## 院長の自由帳

菅田 宗樹

今回は「医療と介護の関係」について述べてみたいと思います。私の主観がふんだんに盛り込まれていますが、ご容赦下さい。

介護保険制度が実施されて、17年が経過しました。介護保険がなければ、現在の高齢化社会を支えていくことは困難だったと思います。

ただ始まりが悪かったと思います。介護保険が破綻していきことが分かっていながら、介護保険料や利用料が抑えられ、さらには医療と介護は全く別物として制度が始まったことです（介護保険の利用促進には繋がりましたが…）。

また一人の人を見ていくのに、医療者と介護者が連携することを求められず、別々に動き始めたことで、医療者と介護者の意識がバラバラになってしまいました。これが現在でも医療と介護の大きな隔たりとなっていると感じます。

今になって「連携、連携」と言っていますが、20年近くも経って、今更かと呆れてしまいます。

私は介護保険が始まった当初から、一人の人に携わるのだから、医療者と介護者が別々に動いてよい訳がなく、そのように考えている介護施設に乗り込んで、強い口調でおかしいことを訴えましたが、受け入れられませんでした。

当時はまだ若かったこともあるのでしょつが、あの熱い思いは冷めず、正しいことを妥協し折れるのは、罪だと思っていますので、今後地域包括ケアシステムを構築・深化するために、何度も衝突してしまう時が間近にきているのだからと感じます。

この医療と介護の隔たりは、視点を変えてみると、勤務医と開業医、総合医と専門医でも同じようなことを感じます。

総合医であり、開業医の私は当然に一つの疾患や臓器だけを診るのではなく、一人の人を診ます。

生活環境、親戚関係、経済力や既往歴、さらには今後の希望や最後の迎え方まで一緒に考えながら、感じ取らなければなりません。

専門医はその疾患、その臓器を診れば良いと思いません。ただ、かかりつけ医（他に主治医となる開業医がない場合）であるならば、専門科だけでは問題があります。徐々にかかりつけの開業医を持つように時代も制度も変わってきていますが、これらの分担がしつ

かりと連携して行われなければならないと思います。我々医療に携わるものだけでは、一人の人を診ることは出来ません。地域の民生委員やケアマネジャー、行政など様々つながりが必要です。

今後益々、超少子高齢化時代が進む中で地域住民のボランティアも必要になってきます。そのためには普段から地域のつながり、多職種でのつながり、他業種でのつながりが大切になってきます。

必ず隔たり、垣根、敷居はなくしていかなければなりません。

他法人と連携する際には、どうしても妥協が必要になることもあるでしょうが、地域のために各々が各々の役割を理解し、協力支援し合って行かなければなりません。

介護保険に携わる方々にとつて、医師への連絡や相談、会議等への参加要請はとも敷居が高いようですが、これからは医師からその敷居を乗り越えて、介護の現場に入り、情報を共有し連携充実によって、効率性を高めなければならぬものと思っています。

携帯電話やメールアドレス、ラインなど様々な方法で地域の医療介護関係者と連絡が取れるようにしていますが、まだまだ遠慮されていると感じます。

法人内の体制を整えて、しっかりと取り組めるようにしていきたいと思っています。

まだまだ暑い日がありますが、少しずつ朝晩は涼しくなってくると思います。風邪を引かないようにお気を付け下さい。

## 院長の一言と名【迷】言

【安】安らかにする。互いにおれあう。多くの方がこの言葉から「妥協」という言葉を思いつくりではないでしょうか？

言葉の意味を感じると、とても良い言葉なのですが「妥協」と聞くと何か残念な問題のある言葉に聞こえますが、人生には必ず必要なことだと思えます。 医療法人社団たつき会 菅田宗樹

## 院長の一言と名【迷】言

【無限】限りがないこと

私の原点と思っている言葉です。何事にも無限なんてありません。乗り越える力となります。

これまでの人生で何度も助けられた言葉です。この言葉があれば今の自分はないと言えるほどの言葉です。

医療法人社団たつき会 菅田宗樹

※前月号に訂正がありましたので、今月号に改めて掲載させていただきます。

## デイサービスセンター つばき

### ★フラダンス♪

7月12日(水) 夏本番！レイフラワー・ミナミ・カーネーションの皆様が来訪して下さいました。



### ★七夕会

7月7日(金) つばきでは天の川から流れてくる素麺を皆さんでほうばりました。七夕にちなみ、毎年この日限定で素麺流しをして楽しんでおります。



## 院内得情報

### 秋の花粉症にご注意を！

花粉症といえば、春のイメージが強いと思いますが、秋の花粉症にも注意が必要です。秋の花粉症の原因であるブタクサやヨモギ等は、野原や道端など至る所で見られます。春の花粉は、花粉粒子が大きいいため鼻粘膜に溜まりやすく、鼻水やくしゃみが代表的な症状とされています。一方、秋の花粉は粒子が小さいため、気管に入るとせきそくの様な症状を引き起こすケースもあります。また、秋の花粉症は風邪と間違われやすいので、症状が悪化する前に、早めの対応を心掛けましょう。





## 実習生とのレクレーション

午後のレクレーションで実習生の豊田くんによる体操とゲームを行いました。体操では首を回したり、体を捻ったりということをしました。皆さん、豊田くんを見本にしっかりと体操が出来ていましたね。

ゲームでは、3種類の写真を見て古いもの・新しいもの・中間のものをそれぞれ並べ替えることをしました。昔の写真を見て「懐かしい〜」「昔はこんなじゃったんよ!？」と教えて下さる方もいらっしゃいました。懐かしい気分になれるゲームに皆さんの笑顔が溢れていました♪



私は誰でしょう?

デイサービスセンター すみれ



## お誕生日会

介護付有料老人ホーム つつじ



7月上旬、お誕生日会を行いました。入居者の皆さん・職員で歌のプレゼント、パースデーカードを渡しました。「皆さんに祝って頂きありがとうございます!」と笑顔で喜ばれました。夏場で体調が崩れやすいので健康に気を付けていきましょう。



## 魚釣りゲーム

グループホーム あかね

入居者の皆さんと、魚釣りゲームを行いました。何匹釣れるか、競争です!! 皆さん、器用に竿を動かして、上手に大物や小魚を釣りあげていました。1番たくさん釣れた方を皆でたたえて終了しました。釣りが終わったら、みんなで健口体操です。大きく口を開けて、パッパッパッパッパッ。体操の後には、美味しいおやつをいただきました。



## ケアマネ通信

### ♪ さつきの部屋 ♪

今年度から実施されている「川尻・安浦地域包括ケアシステムを樹立する会（以下、樹立会）」が7月26日(水)にケアビレッジたつきで開催されました。奇想天外な企画を行う趣旨の樹立会。今回は近隣住民の皆様に来て頂き、リハビリ機器を使った「パワーリハビリ」の体験と、現在首位のカーブを「パブリックビューイング（60インチのテレビ）」という形で一緒に応援しようという企画を行いました。



パワーリハビリでは、5種類のリハビリ機器を体験して頂きました。皆様とても興味深そうに使われていたのが印象的でした。また当日は巨人戦で、巨人の先発は川尻町出身の畠投手。どちらも応援したい気持ちでしたがカーブの強力打線が勝利、樹立会が終了する頃には途中でしたが5対0という勝ちゲームを一緒に応援できました。まだまだ歩き始めた樹立会ですが皆様からの奇想天外なアイデアがありましたら、ぜひご連絡下さい。



居宅介護支援事業所 さつき  
電話0823-36-6661(直通)  
担当:中川、渡邊、竹内

9月の行事予定	あかね		すみれ		つつじ		つばき		
	3日(日)	敬老会	8日(金)	バイキング	3日(日)	敬老会	12日(火)	野呂山ドライブ	23日(土)
		21日(木)	敬老会	17日(日)	お誕生日会	14日(木)	外食ツアー	27日(水)	ビンゴゲーム
						18日(月)	敬老会		

医療法人社団 たつき会

### 菅田医院

〒737-2607 広島県呉市川尻町東一丁目21-1  
TEL(0823)87-2529  
FAX(0823)87-5993

緊急連絡先 090-8066-4999

医療法人社団 たつき会 菅田医院

### デイサービスセンター つばき

〒737-2607 広島県呉市川尻町東一丁目21-10  
TEL(0823)87-0108  
FAX(0823)87-0160

医療法人社団 たつき会 菅田医院

### ケアビレッジたつき

介護付有料老人ホーム つつじ グループホーム あかね  
デイサービスセンター すみれ 居宅介護支援事業所 さつき  
〒737-2518 広島県呉市安浦町内海北六丁目3-20  
TEL(0823)70-6678 FAX(0823)70-6077

医療法人社団たつき会 菅田医院

E-mail : info@tatukikai.jp

ホームページ▶http://tatukikai.jp